

講義名	空間市場分析特論		
科目区分	特論科目		
担当教員	上田 真由美 / 岸野 啓一 / 三谷 哲雄		
開講期・曜日・時限	前期 水曜日 2時限	授業形態	
	2018年度 修士課程 修士課程 研究生 / 2018年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2017年度 修士課程 修士課程 研究生 / 2017年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) / 2016年度 修士課程 修士課程 研究生 / 2016年度 大学院(修士課程) 修士課程(修士論文作成コース) /		
履修開始年次	1年生	単位数	0
		備考	

主題と概要
<p>本科目は、3つのパートで構成する。</p> <p>(1) パート1(上田)「位置情報」 「位置情報」というものがビジネスに活かされるようになってきた。IoTと呼ばれる仕組みにより、様々なモノがインターネットにつながり、その状態をリアルタイムに把握することが可能となったことから、新しいビジネスが次々に登場している。ここでは、位置情報を追跡(トラッキング)することで実現する社会、位置情報のトラッキングを実現する技術について議論する。</p> <p>(2) パート2(岸野)「観光地交通計画」 交通は、人々の日常生活や経済活動を支える重要な役割を担っており、様々な目的で交通計画が立案されている。本講義では、昨今、観光まちづくりが各地で活発に行われる中、観光地交通計画をテーマとする。はじめに、観光地で起こる交通問題を体系的に整理し、観光地交通の円滑化を図るための考え方や計画手法について論じる。</p> <p>(3) パート3(三谷)「地域情報解析」 様々な社会、経済活動の営まれている空間を形成している地域の評価のために、地域情報解析手法について概観するとともに、実際の地域データを用いた簡単な地域分析演習を通して地域解析能力を養う。</p>

到達目標
<p>受講生は、本科目で紹介されたテーマに関して理解を深め、空間市場に対する自らの意見を提案できる力を身につけることが目標となる</p>

提出課題
<p>(1) パート1(上田) 位置情報のトラッキングを活用するサービスについて、講義で取り上げなかったサービスを見つけ出し、その特徴をまとめたレポート作成および発表を行う。</p> <p>(2) パート2(岸野) 観光地の渋滞対策に関する実例について、その特徴や効果などを考察する課題をレポートとして課す。</p> <p>(3) パート3(三谷) 講義中に利用した地域データに基づき、地域の課題やその解決策に関するレポートを提出。</p>

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック
<p>各教員から指示がある。</p>

評価の基準
<p>各教員ごとに33.3(100/3)満点で評価し、それらの合計点数が評価点となる。各パートでは、授業参加度と課題レポート評価の合計で採点される。各教員とも、成績は、授業参加度に30%、課題レポートに70%の配分となる。それぞれの課題レポートにより達成度を評価する。</p>

履修にあたっての注意・助言他
<p>特になし。</p>

教科書
<p>.使用しません。</p>

プリント資料及び参考文献
<p>各教員から適宜、指示がある。</p>

授業計画
<p>01-05 [上田] 1) 位置情報とは 2) 位置情報の追跡(モノの見守り・人の見守り) 3) 位置情報の追跡(移動を追う) 4) 位置情報を追跡するための技術 5) レポート提出・ディスカッション</p> <p>06-10 [岸野] 1) 観光地の交通特性 2) 観光地の交通問題 3) 観光地交通計画の考え方や手法 4) 観光地交通計画の事例 5) レポート提出・ディスカッション</p>

11-15 [三谷] 1) 地域情報のデータ分析法 2) 日本の人口実態 3) 交通事故と地域特性 4) 買い物行動と地域特性 5) レポート提出・ディスカッション

授業形態(アクティブ・ラーニング)
<p>ア：PBL(課題解決型学習)</p> <p>イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)</p> <p>ウ：ディスカッション、ディベート</p> <p>エ：グループワーク</p> <p>オ：プレゼンテーション</p> <p>カ：実習、フィールドワーク</p>

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間
<p>予習及び復習の時間は、それぞれの担当教員ごとに、1)~4)の講義内容に関する事前確認や下調べ、講義資料の事後確認に毎回4時間程度、最終回のレポート作成に4時間程度を目安とする</p>

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述
<p></p>

実務経験の有無及び活用
<p></p>

備考
<p></p>